

社会課題解決へのソリューションと未来社会への提案を多角的に共有・発信する総合イベント

BEYOND SDGs エコプロ

12月2日(水)～4日(金) 10:00～17:00
東京ビッグサイト 東1・2・3・7ホール 入場無料(登録制)

日本経済新聞社は、複数の展示会とセミナーで、社会課題解決へのソリューションと未来社会への提案を多角的に共有・発信する総合イベント「BEYOND SDGs エコプロ」を、12月2日(水)～4日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催します。

1999年の初開催から環境問題の課題解決への取り組みを紹介している「エコプロ」は、複雑・高度化する社会課題に対して、業種や世代、立場を超えた共創イノベーションを発展させるべく、地球、社会、人の課題解決をテーマにした「BEYOND SDGs エコプロ」へと進化します。

地球・社会・人のテーマ別に、「エコプロ EARTH」、「エコプロ SOCIAL」、「エコプロ WELL」の3展示会を開催するとともに、サーキュラーエコノミーの社会実装を目指す展示会「サーキュラーパートナーシップ EXPO」と、企業の健康経営への取り組みを支援推進する展示会「日経健康経営・ロンジェビティ EXPO」を同時開催いたします。産業や世代を超えた出会いにより、様々な視点から経済成長と社会課題の解決を提案します。

5つの展示会による包括的な情報発信

業種や世代、立場を超えた共創による取り組みがこれまで以上に求められる今、こうした時代の変化を新たな機会と捉え、複数の展示会による包括的な情報発信を目的として、5つの異なるテーマの展示会を同時開催いたします。これまでの「エコプロ」でも重要テーマとしていた「社会インフラテック」や「自然災害対策」、「サーキュラーパートナーシップ」に加え、近年注目を浴びる「企業の健康経営」への取り組みを「ロンジェビティ」という新しい潮流とともに紹介する「日経健康経営・ロンジェビティ EXPO」も新たに実施いたします。

SDGs のその先へ「BEYOND SDGs」

現在、地球環境や社会を取り巻く課題はますます複雑化・高度化しており、単一の分野や従来の立場だけでは解決が困難な局面を迎えています。こうした課題を克服するためには、産業や世代、立場の枠を超えた「共創」によるアプローチがこれまで以上に求められています。「BEYOND SDGs エコプロ」のリニューアルには、単に既存のSDGs 達成を目指すだけでなく、業種や世代を超えた出会いからこれまでにないソリューションや新たな価値(マーケット)を創出するという強い意図が込められています。経済成長と社会課題解決を対立させるのではなく、新たなイノベーションと連携によって両立を目指す姿勢を打ち出しています。



《昨年の様子》

○本展示会の情報を貴媒体にご掲載くださいますようお願い申し上げます。ご掲載の折には掲載紙・誌、URLなどを広報事務局 担当宛(最終ページ参照)までお送りいただけると幸いです。

○各種展示会・企画の詳細は次ページをご覧ください。11月には「出展各社・団体の注目製品」をまとめたリリースをご案内します。

各展示会の紹介



脱炭素、資源循環、生物多様性、再生可能エネルギー、食と農業など、地球規模の環境課題に挑む企業・団体が集結。最新の技術や製品、ソリューションを通して持続可能な社会の実現に向けた取り組みを紹介します。GX や脱炭素経営をテーマとした企画展では、企業の環境課題解決を支援する先進的なサービスや事例も発信。環境学習を目的に来場する子どもたちにも分かりやすく、未来へのヒントを提供します。

企画展

カーボンニュートラルテック

脱炭素経営と GX 実装を推進する企業と、課題解決を担うテクノロジー・ソリューションを結びつける企画展です。GHG 排出量の算定・可視化、削減施策、再生可能エネルギー、サプライチェーン GX など、企業の意思決定に直結するテーマを軸に、実践的なソリューションを紹介します。

エコプロSOCIAL

地方創生、官民連携、防災・減災、インフラ老朽化対策、人手不足対策など、日本が直面する社会課題の解決策が集まる展示会です。企業、自治体、大学、NPO など多様な主体が連携し、新たなビジネスや社会実装の可能性を提案します。企画展では、インフラメンテナンス、防災・危機管理、自治体向けサービスなどを特集し、社会課題解決の最前線を紹介。地域社会の持続可能な未来を考える場として展開します。

企画展

社会インフラテック

現在、日本では高度経済成長期に集中的に整備されたインフラ設備が老朽化のピークを迎えており、適切なメンテナンスが急務となっています。維持管理を担う地方公共団体は、厳しい財政状況や技術者不足が深刻な課題となっており、その対策には、AI や情報通信技術を駆使したメンテナンス技術やマネジメントに DX や AX を活用することが求められています。本企画展は、共催者であるインフラメンテナンス国民会議の協力のもと、インフラ維持管理・老朽化対策のテクノロジーやマネジメントを展示とセミナーで紹介します。

企画展

自然災害対策展

全国各地で豪雨や地震による被害が相次ぎ、自然災害の激甚化・頻発化が懸念されるなか、企業や自治体の防災・減災対策を支援する専門展示会です。耐震・水害対策、災害予測や情報収集システム、非常用通信設備、災害時の衛生環境を支える災害用トイレや備蓄品など、被害の最小化と迅速な復旧に寄与する最新の技術・製品・サービスを紹介します。



健康、福祉、人材育成、食、スポーツなど、人々の豊かな暮らしと働き方を支える製品・サービスを発信する展示会です。企業や団体のウェルビーイングへの取り組みを紹介するとともに、来場者が実際に触れて体験できる企画も充実。福利厚生や健康経営に関するソリューションに加え、「食と福利厚生」などの企画展も展開し、心身の健康と持続可能な社会づくりについて考える機会を提供します。

企画展

食と福利厚生展

働き方の多様化や健康経営への関心の高まりを背景に、「食」を切り口とした福利厚生は、従業員のウェルビーイングを支える重要なテーマとして注目されています。本企画展では、健康・コミュニケーション・エンゲージメント向上につながる食の福利厚生サービスや先進的な取り組みを一堂に集め、企業と働く人のより良い関係づくりを提案します。

サーキュラーパートナーシップEXPO

サーキュラーパートナーシップ EXPO は、循環経済（サーキュラーエコノミー）の社会実装を目的とした展示会です。食品や化学、プラスチック、家電、輸送機械をはじめとする製造業や、卸売業・小売、廃棄物処理、リサイクルなど動脈産業・静脈産業が一堂に会する場に、サーキュラーエコノミー実現を支援する各種ソリューション、サービスが集まり、多様なステークホルダーとのビジネスマッチングを支援します。

初開催！

日経健康経営・ロンジェビティEXPO

「健康経営」と「ロンジェビティ」がテーマの展示会を初開催。従業員の健康保持増進に向けた企業の取り組みを支援、さらに“IKIGAI（生きがい）”をキャリアにつなげる健康長寿のいまと未来を展望します。展示会場は「健康経営」「ロンジェビティ」2つのゾーンで構成。健康経営で特に注目される「睡眠改善・スリープテック」に関する集中展示や、関連スタートアップコーナーも展開します。会場内のステージでは、健康経営の意義やポイントに関する講演のほか、事例として 2026 優良法人認定企業も多数登壇。また、世界が取り組むロンジェビティ（健康長寿）の最前線や今後の展望を有識者が議論します。

各企画紹介

■「森と木で拓く SDG s ゾーン」～森と木のある暮らしの提案～

地球温暖化防止、生物多様性保全、水源涵養など多面的な役割を持つ森林の育成や国産材、間伐材などを活用した木づかいを通じて、日本の活力向上につながる新たな産業の創出、地方創生や自然と調和し、森と木に囲まれた豊かなライフスタイルを提案します。「ウッドデザイン賞」を受賞した多彩な作品を紹介する展示コーナーも併設します。共催：日本ウッドデザイン協会、国土緑化推進機構



■未来につながる食エリア

食べることは生きること。食を持続可能なものとするには、サプライチェーンに関わるすべてが win-win の関係でいることと、消費者の理解が非常に重要です。ここでは消費者と双方向の活発なコミュニケーションを生み出します。



■エコプロ 日本経済新聞創刊 150 周年特別セミナー

NIKKEI REGENERATIVE FORUM～「再生」から描く、私たちの未来～（仮）

気候変動、エネルギー、AI、人口減少、食、教育、幸福。私たちの社会は今、大きな転換点にあります。未来は、私たち一人ひとりの選択と行動によって形づくられます。本企画では、「リジェネラティブ（再生）」をキーワードに、持続可能性のその先にある社会の姿を探り、未来を形づくる選択について考えます。

モデレーター：大西 綾【日本経済新聞社 編集 リキッドコンテンツグループ】

日時：12月2日（水）13:30～15:30（予定）

会場：エコプロ大ステージ

開催概要



名 称： BEYOND SDGs エコプロ（エコプロ EARTH／エコプロ SOCIAL／エコプロ WELL／
サーキュラーパートナーシップ EXPO [第 3 回]／日経健康経営・ロンジェビティ EXPO [第 1 回]）
会 期： 2026 年 12 月 2 日（水）～4 日（金）10:00～17:00
会 場： 東京ビッグサイト 東 1・2・3・7 ホール
入 場 料： 無料（登録制）
主 催： 日本経済新聞社、インフラメンテナンス国民会議（エコプロ SOCIAL 企画展 社会インフラテック）、
日経 BP（エコプロ SOCIAL 企画展 社会インフラテック）
後 援（予定）：エコプロ： 環境省、東京都ほか【順不同】
サーキュラーパートナーシップ EXPO：経済産業省、環境省【順不同】
協 力（予定）：エコプロ：グリーン購入ネットワーク、（公財）日本環境協会、全国連合小学校長会、
日本私立小学校連合会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国国立大学附属学校連盟、
全国小中学校環境教育研究会、私立大学環境保全協議会【順不同】
メディア協力（予定）：日経 ESG 経営フォーラム、日経ビジネス、日経 ESG、日経トレンディ、日本教育新聞【順不同】
来場者数：65,000 人（BEYOND SDGs エコプロ全体、見込み）
展示規模：347 社・団体／759 小間（BEYOND SDGs エコプロ全体、9 月 2 日（水）時点）

来場者からのお問い合わせ先：フリーダイヤル 0120-261-122（9：00～17：30 土日祝を除く）
※10 月 26 日～12 月 11 日まで

企画の詳細や最新情報のチェックは公式ウェブサイトで

エコプロ EARTH ウェブサイト <https://messe.nikkei.co.jp/ea/>
エコプロ SOCIAL ウェブサイト <https://messe.nikkei.co.jp/es/>
エコプロ WELL ウェブサイト <https://messe.nikkei.co.jp/ew/>
サーキュラーパートナーシップ EXPO ウェブサイト <https://messe.nikkei.co.jp/cp/>
日経健康経営・ロンジェビティ EXPO ウェブサイト <https://messe.nikkei.co.jp/kl/>

会期中のプレス取材について

ご来場の際はプレス受付「東 1 ホール商談室（1）」までお越しください。
受付ののち、プレスバッジ・報道資料をお渡しいたします。

■本リリース、広報用素材、取材に関するお問い合わせ先

BEYOND SDGs エコプロ 広報事務局（共同ピーアール株式会社内）担当：山田、田家、杉本
TEL：03-6260-4856 e-mail：beyond.sdgs.ecopro-pr@kyodo-pr.co.jp